

# 2 本市の観光の現状

計画の策定には、現状の把握が必要です。基礎データを分析し、その結果から観光計画の立案、施策内容の効果検証、新規事業の検討材料として活用することにより、マーケットの実態に沿った観光戦略を立てていきます。

今回、紹介するデータのほか、本計画書では休日の居住地別滞在者数、夫婦・カップル、家族など観光客を属性で分けた動態調査、外国人観光客の国籍内訳のデータも掲載しています。

# 市観光振興計画を 策定しました



## 1 計画策定に当たって

全国33カ所の国立公園の中から、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の一つに十和田八幡平国立公園が選ばれました。同プロジェクトが掲げる『最大の魅力は自然そのもの』をコンセプトに、本市の自然、温泉、食を世界に向けて売り込んでいきます。

### 国を挙げて「観光先進国」に

国は、自然・文化・気候・食という豊富な観光資源に恵まれた我が国の特性を活かし、地域の魅力を開花させることにより「観光先進国」になることを目指そうと、平成28年3月30日に「明日の日本を支える観光ビジョン」を閣議決定しました。国を挙げて観光を国の基幹産業にするためのさまざまな施策に取り組む、国内外から多くの観光客が地方を訪れ、域内の旅行消費額を増やす環境づくりを指しています。

### ナショナルパーク

この観光先進国を目指す施策の中で特に注目されるのが、国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化する「国立公園満喫プロジェクト」です。

### プロジェクト」です。

全国33カ所の国立公園の中から8地区を選定。その一つに十和田八幡平国立公園が選ばれ、八幡平山頂見返り峠地区などのビューポイントの景観整備、外国人向けガイドツアーの開発やクオリティの高い宿泊施設の充実、海外への情報発信強化に取り組むこととしていきます。

### 市観光振興計画の位置づけ

本市においても「八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、観光振興による交流人口の拡大を施策の一つとして取り組むこととしており、観光を重要な政策と位置付けています。

25年度に策定した「八幡平市滞在型観光振興計画」の理念を継承しながら、急激に変化する社会、旅行者動向、受入実態を勘案し、観光関係者が一丸となって実践できる手引き書として、29年度から33年度までの5カ年の具体的なアクションプランとなる「八幡平市観光振興計画」を策定しました。

### 1 観光入り込み客数の推移

市の観光入り込み客数は、平成23年の東日本大震災の影響を大きく受けることなく、26年度まで順調に伸びました。27年度は4度目となる冬季国体スキー競技会が行われ、入り込み客の増加が期待されましたが、記録的な雪不足に見舞われ、一般の日帰り客が大きく減った影響を受け減少に転じました。

<グラフ1>本市の「年度別」観光入り込み客数



出典：観光統計調査

### 2 宿泊者数の推移

市の宿泊者数と観光入り込み客数とは異なる傾向で、24年度は東日本大震災後の旅行・消費を控える風潮、震災後の景気の悪化を受けた廃業や営業期間の短縮など宿泊施設数の減少が影響したと推察されます。27年度には冬季国体スキー競技会の開催や台湾をはじめとする東アジアなどからの訪日外国人の増大も相まって回復基調に転じています。

<グラフ2>本市の「年度別」宿泊者数



出典：観光統計調査

### 3 教育旅行者の受け入れ状況

市の教育旅行者数は、東日本大震災翌年度の約4分の1まで落ち込みましたが、その後順調に回復し、26年度には東日本大震災前の水準以上に回復・成長しています。

<グラフ3>本市の「年度別」教育旅行者数



出典：観光統計調査

### 4 外国人観光入り込み客数の状況

市の外国人観光入り込み客数は、年率で約3割成長しています。今後、日本が「観光先進国」となるため、国もさまざまな施策に力を入れており、さらなる伸びが期待されます。国籍別で見ると、台湾、韓国、中国が多く、月別で見ると10月、1月に多くなる傾向にあります。

詳しくは、本計画書をご覧ください。



<表1>本市の「年度別」外国人観光入り込み客数

年度	25年度	26年度	27年度
外国人観光入り込み客数	17,891人回	22,364人回	28,448人回

出典：観光統計調査

# 3 本市の観光の課題

- ① 基礎データの整備と戦略策定
- ② 興味・関心度を底上げし、行動させる情報発信
- ③ ノウハウのある人材からの学び、効果の拡大
- ④ 継続可能な「仕組み」の構築
- ⑤ 販路の開拓・拡大
- ⑥ 本市のワンストップ窓口の機能強化

# 4 将来像と

## 数値目標

本市の観光の将来像(テーマ)を「日本の美しい四季と暮らし、ナショナルパーク八幡平」と掲げました。

また、アクションプランの進捗状況における問題点の洗い出し、施策の見直し、新規実施を検討するため、次のとおり成果指標を定めました。

項目	27年度実績値	32年度目標値 (市総合計画)	33年度目標値
観光入り込み客数	1,755千人回	2,500千人回	2,500千人回
教育旅行者数	28,562人回	30,000人回	30,000人回
外国人観光入り込み客数	28,448人回	32,000人回	32,000人回
延べ宿泊客数	488千人回	460千人回	490千人回
スポーツ関係宿泊者数	26,191人	33,000人	33,000人

# 5 観光振興のための

## 8つのアクションプラン

本市の将来像「日本の美しい四季と暮らし、ナショナルパーク八幡平」を具現化し、国内外を問わず広く観光客が集まる地域となり、成果指標として設定した数値を向上させるため、次の8つに重点を置き、本計画期間における活動を推進します。

- ① 八幡平市版DMOの設立
- ② 「ナショナルパーク八幡平」ブランドの構築
- ③ 戦略策定のためのマーケティングデータの収集
- ④ スポーツ・健康をキーワードにした観光
- ⑤ 山里・雪国の暮らし・自然エネルギー
- ⑥ 観光イベントの強化
- ⑦ 人材育成(ガイド・市民の参画意識)
- ⑧ 広域周遊ルート、観光圏の広域連携・協力

**① 八幡平市版DMOの設立**

観光客受け入れのためのプラットフォーム(八幡平市版DMO)を組織化し、地域と観光の融合を図ることで、ナショナルパーク八幡平に多くの観光客をお迎えする流れを作ります。本計画のアクションプランは、全て八幡平市版DMOの確立が前提となります。

「八幡平市版DMOに求められる役割」

▼年間を通じて国内外問わず、あらゆるターゲット客に地域に訪れ続けてもらうようにするための情報発信およびデータ分析・戦略策定

▼多様な関係者のツーリズムへの関わりを作ることで、あらゆる旅行者のニーズに対応できる観光サービスの提供

「八幡平市版DMOのイメージ」は次ページの図のとおりです。

### ② 「ナショナルパーク八幡平」ブランドの構築

「八幡平といえば○○」〇〇といえば八幡平」のブランド構築、確立を目指します。

また、国内外に向けてナショナルパーク八幡平の価値を高めるため、誰が見ても分かりやすい多言語表記の「案内板」「パンフレット」の整備をしていきます。

### ③ 戦略策定のためのマーケティングデータの収集

具体的なターゲットを定めて戦略を立案するために、定期的な来訪者実態調査を行います。また、調査結果を元に顧客像に対応した具体的な施策とアクションプランを検討します。

### ④ スポーツ・健康をキーワードにした観光

スポーツ合宿・大会誘致のためのセールスを実施します。また、50+トレイルや樹氷を鍵にしたバックカントリーなどのプログラムを整備し、ブランド構築を目指します。



七時雨マウンテントレイルフェス

### ⑤ 山里・雪国の暮らし・自然エネルギー

ナショナルパーク八幡平は、環境・自然学習・グローバル人材育成・キャリア教育につながる学びの場です。

日本で初めて商用運転を開始した地熱発電所をはじめ、雪氷エネルギーを利用した雪冷房りんどう培養育苗施設など多様な再生可能エネルギーを学ぶプログラムを整備します。

### ⑥ 観光イベントの強化

既存イベントの採算性・集客人員を精査し、今後の発展・拡大が見込み難いイベントについては、他のイベントと共同開催するなど見直しを

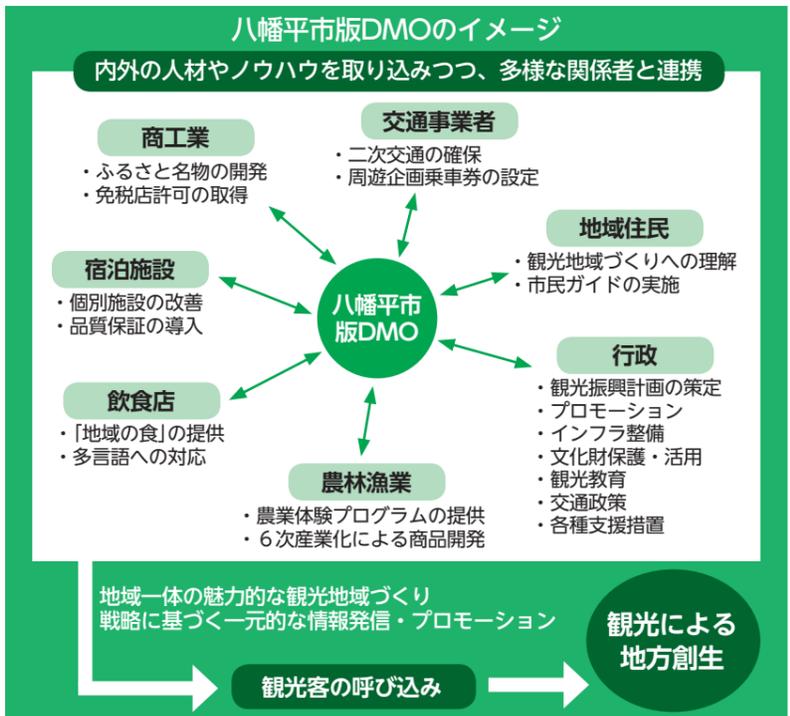


八幡平を案内するガイドの様子

### ⑦ 人材育成(ガイド・市民の参画意識)

ナショナルパーク八幡平をより多くの来訪者に体感してもらうため「ナショナルパーク八幡平ガイド認証制度」を立ち上げ、外国語や障害のある人への対応など幅広いガイドの育成を図るとともに、円滑な受付体制整備、体系的な情報発信を目指します。

市民向け講座・プログラムを開設し、市民の興味・関心



### ⑧ 広域周遊ルート、観光圏の広域連携・協力

度の底上げをするとともに、市内外に魅力を発信する機運の醸成を目指します。

北東北の玄関口(交通拠点)である盛岡市、鹿角街道、産業遺産のつながりがある鹿角市と連携強化を図ります。

また、共同実施によるプログラムの充実、共同セールス・プロモーションにより、露出回数アップ、認知度の向上を目指します。

計画の詳細は、市ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先 市役所商工観光課観光振興係(☎・内線1313)